

若者の社会人としての第一歩が 失業者という社会でいいのでしょうか

来春卒業予定の大学生の就職内定率は「就職氷河期」といわれた2003年を下回る57.6%で調査開始の1996年以降最悪となり、高校生の内定率は40.6%という深刻な状況です。

日本共産党は今年4月21日に就職難打開の提言を発表して取り組みを進めてきました。この秋の国会では、「社会人としての第一歩が失業者という社会でいいのか」という若者の苦悩を正面から取り上げました。大学・企業・政府の3者での「新卒者等の就職採用活動に関する懇話会」

も始まっています。

今後さらに大きな世論をつくるために、「就職難打開のための政策懇談会」を開催します。大学、企業、高校などさまざまな立場の方々と政策懇談を行い、就職難打開と健全な経済の立て直しにむけ交流します。ぜひ気軽にご参加下さい。



高校生

就職難打開のための

政策懇談会

ご案内

- 日時: 1月22日(土)
午後1時30分より
- 場所: 国労大阪会館
3階大会議室
- 報告: 宮本たけし 衆議院議員
黒田まさ子 府会議員

